

総合的な学習の時間で活用する

5 総合的な学習の時間での活用

本場面におけるポイント

- **問題に目を向ける**
子どもが多様な問題に目を向けて学習課題をつくるときの情報として生かす。
- **学習方法や心構えを学ぶ**
体験的な追究活動をするときの学び方や心構えなどを考える補助教材として生かす。また、追究の観点や方法を広げるために役立つ。
- **学んだことを書き留める**
学習を通して感じたこと、考えたことを忘れないようにするために書き留めておく。



● ボランティア精神を育てる体験活動の中で生かした事例 (第3学年)

- 1 単元名 お年寄りとともに——一人暮らしのお年寄りを支える会の人と—
- 2 ねらい ◇一人暮らしのお年寄りが喜んでくれることが様々にあることに気付く。
◇お年寄りに喜んでもらうために、工夫して会を開くことができる。
◇自分のやりたい活動を考えて見通しをもって進めようとする。
- 3 学習で生かす「心のノート」のページ
3・4年用P.36～39「**礼ぎ—形を大切に—して心をかよわせ合う**」
3・4年用P.48～53「**みんなにささえられているわたし**」
- 4 単元計画と「心のノート」を生かす場面

| 活動のおよその流れ(全23時間) | 留意点・「心のノート」の活用 |
|---|--|
| 1 一人暮らしのお年寄りからの手紙を読んで感じたことを話し合う。② ・お年寄りが困っていることはどんなことか。 ・自分たちにできそうなことはどんなことか。 | ◇事前に一人暮らしのお年寄りに依頼して、気持ちなどを書いてもらったものをを用いる。 |
| 一人暮らしのお年寄りが喜んでくれる交流の会をしよう | ◇準備の途中で、お年寄りとの心の通わせ方を考えるために、P.36～37を用いて話し合う。 |
| 2 交流の計画を立てて準備を進める。⑤ 3 交流の会を開く。③ (社会福祉協議会の方と一緒に) | ◇1回目ですぐうまくできなかったことをどのように直し、加えたらよいのかについて考えられるようにする。 |
| 4 うまくいかなかったこと、できなかったことはどんなことか考える。② 5 次の交流の会でもっと工夫しよう。⑥ | ◇お年寄りから聞いた話の中で書いておきたいことをP.50に書き留めるように促す。学習で用いた学習シートの内容を転記することも考えられる。 |
| もっと工夫した交流の会をして喜んでもらおう | |
| 6 もう一度交流の会をして、お年寄りにもっと喜んでもらおう。(ふれあい活動、劇や合奏の実演など)③ 7 活動を振り返って、これからできそうなことを考えよう。② | |

※このほかにも7の学習活動などで、P.76～79「**みんなのために流すあせはとても美しい**」の中のP.78～79の記入欄などを生かすことも考えられる。

様々な体験活動を通して自分らしい生き方を考える

5 「心のノート」活用の実際

(1) 交流会の準備のときに役立つ

より心の込もった活動にしたいという考えから、気持ちのよい礼儀について考えるとき、P.36～37を見て考えられるようにした。活動の中ではおよそ次のような流れでこのページを生かした。

- ① P.36に書いてあることを発表したり、気付いたことを書き加えたりする。
- ② P.37の内容を参考にして、練習をする。
- ③ 難しかったことを話し合い、一人一人がめあてをもつ。

(2) お年寄りから学んだことを記録する

子どもたちは、お年寄りが今までどんなことをがんばってきたか、またどんなことが好きなのかを聞いたりする。その中で、子どもが忘れたくないと思うことがいくつもある。

そこで、「忘れないように自分の心のページに記録しておこう。」と投げ掛けて、P.50を紹介した。子どもは、思い思いに書き込んでいた。



大切にしたい礼儀にどんなものがあるだろう



自分の心にしっかりと記録を

● 地域生活での問題に目を向ける体験的な学習の導入で生かした事例 (第5学年)

- 1 単元名 この町をどうする—環境会議を開こう—
- 2 ねらい ◇地域生活の特色や問題をつかむために、自ら地域に関わろうとする。
◇身の回りの環境を改善するためにできそうなことを進んで考える。
- 3 学習で生かす「心のノート」のページ
5・6年用P.80～83「**ぐるりとまわりを見渡せばよくしていききたいこの社会**」
- 4 単元の流れの概要(全30時間)

| 学習活動の流れ |
|---|
| ◆ 地域の生活環境にどんな問題があるだろう④ (※P.80・81を活用する) |
| ◆ 町の生活環境の調査をしよう⑥ ・調べたいことははっきりさせよう ・実際に聞いたり調べたりしよう |
| ◆ 役所の人に聞いてみよう④ |
| ◆ 調べたことをもとに環境会議を開こう⑥ |



このページから子どもの問題意識が広がる

P.80～81を見ると、子どもは「ほかにもこんなところがあるよ」と次々と発表する。「今、どうなっているんだろう」「どんな感じだろう」という疑問が、子どもの問題意識となって、生活環境を調査しようという意欲を高めることにつながられる。

総合的な学習の時間で活用する

本場面におけるポイント

- 課題設定を促す
「心のノート」は子ども一人一人の課題設定を促すことに生かすことができる。
- 学習活動のヒントにする
体験的な学習や問題解決的な学習の具体的内容と関連付けることが可能である。
- 自己の生き方を考えられるようにする
様々な課題の中で、自己の生き方を考えることができるようにする。

● 自然環境から自己の生き方を考える学習活動の中で生かした事例 (第2学年)

- 1 単元名 人間と自然環境
- 2 目標 ◇自然環境に対する関心を高め、今日的課題とその原因を見つけ、問題解決へと結び付ける力を養う。
◇自然を愛し、環境保全への態度を育み、これからの自分の生き方を考えることができるようにする。
- 3 単元計画と「心のノート」を生かす場面

| 活動のおよその流れ | 「心のノート」を生かす場面 |
|--|---|
| オリエンテーション(1時間) 本学習活動のねらいを知るとともに、自然環境への関心を高める。 | ○「環境クイズ」にチャレンジしよう! クイズの一部に「心のノート」にある写真を用いて、自然環境への関心を高める。 |
| 課題設定(2時間) 自然環境の今日的課題について様々な資料を基に考え、本学習活動での個人別テーマを決定する。 | ○「イメージマップ」を書こう! イメージマップを作成するための一資料として中学校用P.75を生かす。 |
| 課題探究活動(10時間) 個人別・グループ別テーマを基に、課題探究活動の活動計画を作成し、活動を進める。 | ○探究活動を深めよう! それぞれの探究活動に関連のある「心のノート」のページを意識させるようにする。 |
| 学習のまとめ(2時間) 課題探究活動の結果と自分の生き方について考えた内容を報告書にまとめるとともに、多様な方法を用いてわかりやすい発表を行う。 | ○これからの生き方を考えよう! 本学習活動の成果を基に、中学校用P.78～79を生かして今後の自然との関わりについて考える。 |

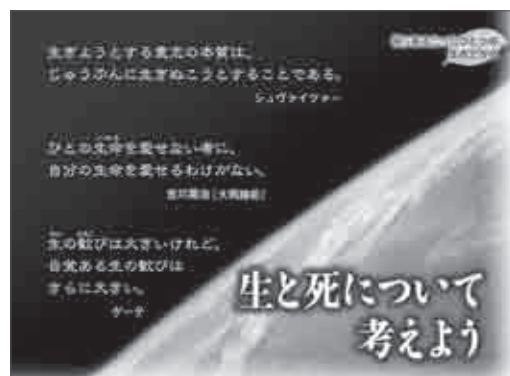
4 「心のノート」活用の実際

(1) 「環境クイズ」にチャレンジしよう!

「大気汚染」の問題例
地球をりんごの大きさに例えると、空気の層はどれくらいの厚さでしょうか。
ア りんごの皮くらい イ りんごの皮5枚分
ウ りんごの皮10枚分 エ りんごの皮50枚分

正解はアの「りんごの皮くらい」である。中学校用P.75の写真を提示し、地球の地平線上にうっすら白く見える空気の層を再確認することで空気の層が限られたものであることを再確認することができる。

生命に関する中学校用P.75の内容から環境を考える



体験的な探究の中で自己の生き方を考える学習に生かす

(2) 「イメージマップ」を書こう!

「イメージマップ」のまん中に中学校用P.78～79の写真を印刷した。子どもは、これを見て自然についての「願い」「疑問」「気付いたこと」等について思いをめぐらせた。

ある子どもは、写真を見ながら、右の図のように「ごみ」「空気」「水」「森林」「食べ物」「異常気象」等を書き出した。そして、これらの言葉や疑問をつなげて、自分の興味・関心のあるテーマを探究するようになった。

本活動でのイメージマップづくりに「心のノート」の写真を使用したことにより、「心のノート」活用の促進にもつながった。



◀子どものイメージマップ記入例▶



(3) 探究活動を深めよう!

清掃工場にフィールドワークに出掛けたある子どもが、「心のノート」のP.98に「ごみは永遠に出るもの。だから一人一人が気をつけないとだめ。今はごみの分別があまりされていないのでしっかりとやろうと思った。」と記述した。

そこで、教師は「環境学習で学んだことを今日からの行動に生かそう。」と言葉を掛け、子どもの具体的な行動への意欲を喚起させた。

(4) これからの生き方を考えよう!

学習発表会で、子どもは「オゾンホールができる経緯」をまとめ、右のように「紙芝居」を使って被害の大きさについて訴えた。

その後、「心のノート」に自然との今後の関わりについて自分の考えをP.79に記入した。「かつて素晴らしく便利と言われていたフロンガスが、地球のオゾンホールを破壊していた。私は、これまで便利さや快適さを第一に考えてきましたが、これからは地球環境にとって何が大切かを第一に考えていきたいです。」と記入していた。

これからの自己の生き方を考える上で、「心のノート」も大いに活用できるようにしたい。

中学校用P.98の記入例



紙芝居で学習発表する子ども